

パリ DAC 通信（謹賀新年：2007 年 ODA 額と 2010 年 ODA 額シミュレーション）

2007 年 ODA 額と 2010 年 ODA 額シミュレーションが DAC 事務局により公表されました。

■2007 年の ODA 額は減少、ただし債務削減を除くと前年比 2%増

2007 年の ODA 額は債務削減を除くと前年比 2%増となりました。前年の 2006 年の ODA 額は債務削減の割合が高いという特殊要因があり、債務削減を除かない場合は 2007 年の ODA 額は 1035 億ドル（約 12 兆円）と、2006 年の 1044 億ドルから減少しました。なお、2007 年の ODA 額の国民所得比は 0.28%でした。

■日本の ODA 額は米、独、仏、英に次ぐ第 5 位に

最大の援助国は 218 億ドルと 2 割以上を占める米（9.8%減）、次いで独（6.1%増）、仏（16.4%減）、英（29.6%減）、日本（29.8%減）であり、日本は 2006 年の第 3 位から第 5 位に転落しました。スペイン（19.7%増）、ルクセンブルグ（15%増）、ノルウェー（13.4%増）、オーストラリア（9.1%増）、オーストリア（8.3%増）などは大幅に ODA 額を増加させました。

■新興国による ODA も大きな存在に

サウジアラビアの ODA 額は 21 億ドルと、統計が把握できる DAC 非加盟国の中では最大となりました。韓国（48.6%増）、ポーランド（5.2%増）なども大幅に ODA 額を増加させました。一方で、ハンガリー（42.9%減）、トルコ（29.8%減）チェコ（3.5%減）などは ODA 額を減少させています。

■ODA の最大の受取国はイラク、アフリカ向けの ODA も増加

2007 年 ODA 額 1035 億ドルのうち、90 億ドルはイラク向けでした。このうち 48 億ドルは債務削減によるものです。次いで、アフガニスタン（30 億ドル）、タンザニア（18 億ドル）、カメルーン及びスーダン（各 17 億ドル）が最大の受取国となっています。またアフリカ向けの ODA は 387 億ドルと全体の 37%を占め、債務削減を除くと 12%の増加となりました。

■ODA 増額の公約は達成できるか

DAC 事務局のシミュレーションでは、2010 年の ODA 額は 1427 億ドル、日本の順位は米、独、英、仏、伊に次ぐ第 6 位になるとされています。また G8 諸国がグレンイーグルスで公約した援助の増額を達成するためには大幅な ODA 額の増加が必要となっており、DAC 事務局は増額の未達成に警鐘を鳴らしています。

2008 年 ODA 額の速報値は 4 月に公表される予定です。

2007 年 ODA 額と 2010 年 ODA 額シミュレーションの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.oecd.org/dataoecd/47/25/41724314.pdf>